

海陽町 学校のあり方に関するアンケート調査

日頃より、海陽町の教育行政に対してご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

教育委員会では、令和3年度に「海陽町学校のあり方検討委員会」を設置し、少子化を背景に学校教育の環境が変化する中、学校と地域のあり方について審議を行っており、その基礎資料とすることを目的に、アンケート調査を実施することになりました。

今回の調査は、町内の就学前児童や小・中学生の保護者全員と、16歳以上の町民から無作為抽出した500人の方に回答をお願いするものです。

ご回答いただいた内容は、計画の策定にのみ利用させていただくもので、ご回答者個人が特定されることは一切ありません。

つきましては、お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解のうえ、回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年6月

海陽町教育委員会

記入にあたってのお願い

回答者	締切及び返送方法	注意事項
就学前児童や小・中学生の保護者の方	<u>7月11日（月）</u> までに、お子様を通じて担任にお渡しください。 調査票は封筒に入れて、糊などで封をしてください。	お子様に兄弟姉妹がいる場合は、 <u>最も年少のお子様の調査票</u> に回答を記入してください。 余った調査票は、白紙のまま、お子様に持たせてください。
上記以外の町民の方	<u>7月11日（月）</u> までに、同封の返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。 切手は不要です。	封筒の宛名の本人がお答えください。 病気や身体の不自由などの理由で記入が難しい場合は、家族や介護者の方などが、本人の意向を尊重して代筆してください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関する問い合わせは、下記までお願いいたします。

海陽町 教育委員会

〒775-0202 海陽町四方原字杉谷73番地

TEL：0884 - 73 - 1246 FAX：0884 - 73 - 3833

～アンケート調査の説明～

今回の調査は、学校の再編統合基本計画を策定するにあたり、国や県が示す「学校の適正規模」、「学校の適正配置」を基に、本町の学校のあり方についてお聞きしています。児童生徒の学びや教育に関する設問は、本調査の趣旨と異なることから、設けておりません。

学校の再編統合を検討するにあたり、国が示す学級数及び1学級当たりの人数、通学圏に関する基準値を考慮する必要があります。以下に国の示す基準値を掲載します。

■適正規模の基準

①学級数の考え方（国の基準）

	必要な規模	望ましい規模
小学校	1学年1学級以上（6学級以上）	1学年2学級以上（12学級以上）
中学校	1学年2学級以上（6学級以上）	9学級以上

※中学校の望ましい規模は、5教科及びその他の教科に専任の教員が配置できる学級数が必要の観点から9学級以上としています。

②学級編成基準人数（国と県の基準、令和3年4月1日現在）

単位：人

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	特別支援学級
小学校	国	35	35	40 (R4)35	40 (R5)35	40 (R6)35	40 (R7)35	8
	県	35	35	35	35	35	35	8
中学校	国	40	40	40				8
	県	35	35	35				8

上記人数は、1学級当たりの上限値となります。1学級当たりの下限値は、小学校は2の学年合わせて16人（1年生を含む場合は8人以下）、中学校は2の学年合わせて8人になると複式学級となります。

複式学級とは、2つ以上の学年で構成される学級のことです。異なる学年が同じ教室で授業を受けるため、一方の学年が先生から直接指導を受けている間、もう一方の学年は課題学習等を行います。

令和4年5月現在で、海部小学校は複式学級となっています。

■適正配置の基準

①通学圏の考え方（国の基準）

	通学距離	通学時間
小学校	おおむね4km以内	おおむね1時間以内 ※上記を目安として市町村が判断
中学校	おおむね6km以内	

回答にあたっての注意事項

1. 回答は、この調査票に直接記入してください。あてはまる番号に○をつける場合と、意見などを自由に記入する場合があります。
2. ○をつける場合、その数に注意してください。○の数は、各設問文に書かれています。
3. 「その他」を選んだ場合、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。

問1 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代以上 | |

問2 あなたのお住まいの地区は、どの小学校区ですか。(○は1つ)

1. 海南小学校区 (旧浅川小学校区、旧川上小学校区)
2. 海部小学校区
3. 穴喰小学校区

問3 コロナ禍以前の3~5年前、あなたは小・中学校とどのような関わりをもっていましたか。 (あてはまるものすべてに○)

1. 役職をもって学校と関わっていた
(PTAやコミュニティ・スクールの委員、スクールカウンセラーなど)
2. ボランティアで、児童生徒を見守り育てる取組に参加していた
(登下校の見守り、花壇の整備など)
3. 学校行事を通して、子どもや地域の人との交流を深めていた
(運動会、文化祭など)
4. 学校行事を通して、地域のまちづくりに関わっていた
(資源回収、防災学習、文化財巡りなど)
5. 団体やサークルの催しに参加して、学校施設を利用していた
(健康体操、料理教室、各種学習など)
6. 自主的に学校施設を利用していた
(スポーツや郷土文化の伝承、子や孫との遊びなど)
7. その他 ()
8. 特にない

問4 現在、あなたは小・中学校とどのような関わりをもっていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 役職をもって学校と関わっている
(PTA やコミュニティ・スクールの委員、スクールカウンセラーなど)
2. ボランティアで、児童生徒を見守り育てる取組に参加している
(登下校の見守り、花壇の整備など)
3. 学校行事を通して、子どもや地域の人との交流を深めている
(運動会、文化祭など)
4. 学校行事を通して、地域のまちづくりに関わっている
(資源回収、防災学習、文化財巡りなど)
5. 団体やサークルの催しに参加して、学校施設を利用している
(健康体操、料理教室、各種学習など)
6. 自主的に学校施設を利用している
(スポーツや郷土文化の伝承、子や孫との遊びなど)
7. その他 ()
8. 特にない

問5 今後、あなたは小・中学校とどのような関わりをもちたいですか。

※就学前児童や小・中学生の保護者の方は、お子様が中学校卒業後を想像してお答えください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 役職をもって学校と関わっていききたい
(PTA やコミュニティ・スクールの委員、スクールカウンセラーなど)
2. ボランティアで、児童生徒を見守り育てる取組に参加したい
(登下校の見守り、花壇の整備など)
3. 学校行事を通して、子どもや地域の人との交流を深めたい
(運動会、文化祭など)
4. 学校行事を通して、地域のまちづくりに関わっていききたい
(資源回収、防災学習、文化財巡りなど)
5. 団体やサークルの催しに参加して、学校施設を利用したい
(健康体操、料理教室、各種学習など)
6. 自主的に学校施設を利用したい
(スポーツや郷土文化の伝承、子や孫との遊びなど)
7. その他 ()
8. 特にない

学校と地域のあり方についておたずねします。

問6 あなたが小学校に求めることは何ですか。(○は3つまで)

- 1. 家庭教育の支援を行う
- 2. 放課後や週末等の子どもたちの活動拠点（居場所）を提供する
- 3. 地域との活動を通して、子どもと大人の交流を深める
- 4. 地域との活動を通して、地域への理解を深めたり、まちづくりを進める
- 5. 地域住民のスポーツや学習、憩いの場として学校施設を開放する
- 6. 地域の防災拠点として学校施設を利用する
- 7. その他（)
- 8. 特にない

問7 あなたが中学校に求めることは何ですか。(○は3つまで)

- 1. 家庭教育の支援を行う
- 2. 放課後や週末等の子どもたちの活動拠点（居場所）を提供する
- 3. 地域との活動を通して、子どもと大人の交流を深める
- 4. 地域との活動を通して、地域への理解を深めたり、まちづくりを進める
- 5. 地域住民のスポーツや学習、憩いの場として学校施設を開放する
- 6. 地域の防災拠点として学校施設を利用する
- 7. その他（)
- 8. 特にない

問8 海陽町の児童生徒数は減少し、小・中学校のほとんどが1学年1学級となっていますが、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

(①～②それぞれに○は1つ)

	積極的に 再編・統合 すべき	再編・統合は やむを得ない	できるだけ 再編・統合は 避けるべき	わからない
①小学校	1	2	3	4
②中学校	1	2	3	4

問9 平成20年度に策定した「海陽町の小・中学校統合計画」には、以下のように書かれています。あなたの考えに最も近いものはどれですか。(①～③それぞれに○は1つ)

	そう思う	ややそう思う	どちらでもない	ややそう思わない	そう思わない
①「集団による教育の充実」と「指導体制の充実」のために、小・中学校のすべての学級でクラス替えができる規模にする。 (1学年2学級以上)	1	2	3	4	5
②上記①を達成させるためには、町全体で「小学校1校・中学校1校体制」とせざるを得ない。	1	2	3	4	5
③町の地理的条件を考えると上記②は厳しいため、町全体で「小学校2校・中学校2校体制」をめざすことが妥当といえる。	1	2	3	4	5

問10 仮に、お住まいの地区の小・中学校が再編・統合される場合、心配なことはありますか。(○は3つまで)

なお、「1」を選ばれた方は、その具体的な内容を枠内にご記入ください。

1. 環境変化による子どもへの影響	
⇒具体的な内容	
2. 家から学校までの距離や通学時間	
3. 通学路の安全確保	
4. 通学手段	
5. 再編・統合された学校の跡地利用	
6. その他 ()	
7. 特にない	

